



写真1 17区 全景 (北東から)



写真3 17区 五間堀南肩護岸と杭跡 (東から)
向かって左側 (石と土の境) に杭が打設されています。



写真4 17区 五間堀南肩修築痕跡 (北から)
砂に埋まった古い時期の護岸が確認できます。



写真5 16区 全景 (南から)
全域で旧木津川が運んだと考えられる砂を確認しました。
旧木津川 (江戸時代) の中を調査したと考えられます。



写真6 18区 全景 (南から)
奥に見える石が「埋立地1」の護岸状遺構、手前が「旧木津川」だと考えています。

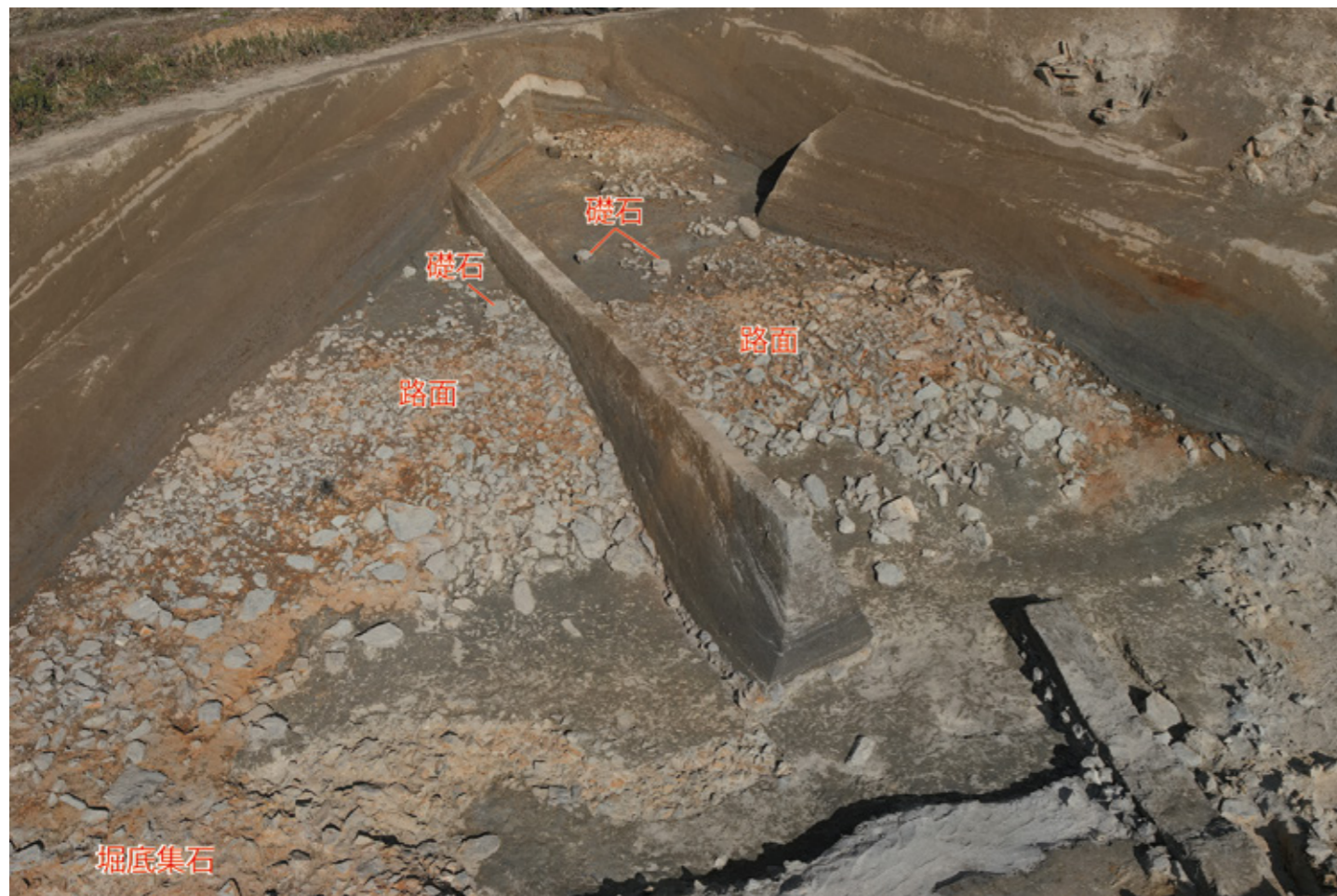


写真2 17区 五間堀北肩・外高嶋 (南から)

表1 築城と洪水関係略年表

年号 (西暦)	出来事	藩主
元和9年 (1623)	伏見城廃城に伴い淀城の築城を開始。松平定綱が遠江掛川藩より転封。(3万5千石)	松平
寛永3年 (1626)	徳川秀忠、家光が淀城を訪れる。この頃に本丸・二の丸が完成。	
寛永10年 (1633)	永井尚政が、下総古河藩より転封。(10万石)	永井
寛永14年 (1637)	木津川の付け替えと城下町の拡張工事 (内高嶋・外高嶋・五間堀が完成) が行われる。	
寛文9年 (1669)	石川憲之、伊勢亀山藩より転封。(6万石)	石川
元禄14年 (1701)	淀で洪水。伏見堤と京堤が切れる。	
宝永8年 (1711)	松平光熙、美濃加納藩より転封。(6万石)	松平
享保6年 (1722)	洪水により淀城二ノ丸などが浸水。	
享保8年 (1723)	稲葉正知、下総佐倉藩より転封。(10万2千石)	稲葉
享保13年 (1728)	7月、洪水が起こる。淀城は矢狭間から浸水。8月、洪水により淀町は六尺 (約1.8m) まで浸水。	
宝暦6年 (1756)	落雷により淀城本丸焼失。	
安永3年 (1774)	洪水により淀の町が水没。大風で淀城稽古所など大破。	
慶応4年 (1868)	鳥羽・伏見の戦いで城や町などが焼失。5月、木津川・宇治川氾濫。木津川付け替え工事が始まる。	
明治2年 (1869)	稲葉正邦、淀藩知事に就任。	
明治4年 (1871)	廃藩置県により淀藩廃止、淀県が置かれる。	
明治18年 (1885)	台風による大雨のため桂川・木津川・宇治川・淀川洪水。	
明治22年 (1889)	台風による大雨のため納所堤防が破堤。淀町で970戸が浸水。	
明治29年 (1896)	台風による大雨のため淀町・納所が浸水。	
明治40年 (1907)	台風による大雨のため淀町・納所が浸水。	